

1. 産業廃棄物処理施設の構造及び設備

(1) 施設名称及び施設の主要な設備の型式、構造、主要寸法、能力

	名 称	製 造 者 ・ 型 式	構 造 ・ 材 質 等	主 要 寸 法	能 力	備 考
中核設備	破砕機	〇〇製 〇〇〇〇	二軸破砕方式 〇V 〇〇kW 本体:SS400 刃:WC-Co ロータ:SUS316L	w〇×d〇×h〇	廃プラスチック類 〇 t/h 木くず 〇 t/h がれき類 〇 t/h ※処理品目が複数ある場合、品目ごとに処理能力を記載してください。	処理能力計算書〇〇参照 構造計算書〇〇参照 機器図〇〇参照
中核設備	集じん機	〇〇製 〇〇〇〇	サイクロン式 〇V 〇〇kW SS400	w〇×d〇×h〇	〇 m ³ /h 集じん効率 〇%	機器図〇〇参照
以外	脱臭装置	〇〇製 〇〇〇〇	活性炭吸着式 〇V 〇〇kW SS400	w〇×d〇×h〇	〇 m ³ /h	機器図〇〇参照
	※中核設備と機械的に直結する設備、技術基準に基づき設ける設備等を記載してください。					

※ 当該施設の構造を明らかにする平面図、立面図、断面図、構造図及び処理工程図、並びに必要な応じて設備能力の証明書類を添付すること。

2. 処理に伴って生ずる排ガス及び排水

(1) 排ガス

処 理 方 法	サイクロン集塵機及びバグフィルターを設け、消石灰、活性炭、重曹を噴霧し、ばいじん、硫黄酸化物、塩化水素、ダイオキシン類、全水銀を捕集・除去します。	
	接触触媒装置を設け、アンモニアを噴霧し窒素酸化物を除去します。	
	※排ガスが発生しない場合、施設の構造上、処理に伴う排ガスの発生がない旨を記載してください。	
	排ガス量 (m ³ N/h)	○ (m ³ N/h)
煙突の数	○ 本	(添付図等) ・処理フロー (○○☑) ・処理施設への導入及び排出経路 (○○☑)
煙突の設置位置	添付○図のとおり。	
煙突の高さ (m)	○ m	

(2) 排水

処 理 方 法	※排水が発生しない場合、施設の構造上、処理に伴う排水の発生がない旨を記載してください。	
	なお、処理施設で水を使用するが排水は発生しない場合、排水が発生しない理由を説明してください。	
排水量 (m ³ /日)	○ (m ³ /日)	(添付図等) ・処理フロー (○○☑) ・処理施設への導入及び排出経路 (○○☑) ・排水バランスシート
放流口の数	○ 箇所	
放流口の位置	添付○図のとおり。	
放流先	・河川 (雨水○箇所) ・海域 () ・公共下水道 (汚水○箇所) ・その他 ()	

定常運転を行った際の設計計算値を記載してください。
 該当しない項目は表に斜線を入れて「該当なし」と記載してください。

3. 設計計算上達成することができる生活環境への負荷に関する数値

(1) 大気質関係 排ガス計算の結果等を記載してください。

地点名称	排出ガス量 (Nm ³ /h)	排ガス温度 (°C)	大 気 汚 染 物 質								備考 標準酸素濃度 ○○%
			ばいじん (g/m ³ N)	CO (ppm)	SO _x (ppm)	NO _x (ppm)	HC1 (mg/m ³ N)	ダイキソ類 (ng-TEQ/m ³ N)	全水銀 (μg/m ³ N)		
煙突出口	○○	○○	○○	○○	○○	○○	○○ (○○ppm)	○○	○○		

(2) 水質又は地下水関係

地点名称	排水量 (m ³ /日)	pH	BOD (mg/l)	COD (mg/l)	SS (mg/l)	ノルマルヘキサン抽出物質 (mg/l)		そ の 他 該 当 項 目 (mg/l)				備考
						鉱油類	動植物油類					
放流口○○	○○	○○以上 ○○以下	○○	○○	○○	○○	○○					

(3) 騒音関係 生活環境影響調査の結果等を記載してください。

地点名称	騒音レベル (dB)
地点○○、地点○○ 地点○○、地点○○	最大○○ (6:00~8:00) 最大○○ (8:00~18:00)

(4) 振動関係 生活環境影響調査の結果等を記載してください。

地点名称	振動レベル (dB)
地点○○、地点○○ 地点○○、地点○○	最大○○ (8:00~19:00)

(5) 悪臭関係 生活環境影響調査の結果等を記載してください。

地点名称	臭気指数	臭 気 物 質 (ppm)							
		ア ン モ ニ ア	メチルメルカプタン	硫化水素	硫化メチル	二硫化メチル	トリメチルアミン	アセトアルデヒド [°]	プロピオンアルデヒド [°]
地点○○ 地点○○ 地点○○ 地点○○ 脱臭装置排出口	最大○○	○○	○○	○○	○○	○○	○○	○○	○○
		ノルマルブチルアルデヒド [°]	イソブチルアルデヒド [°]	ノルマルペンチルアルデヒド [°]	イソペンチルアルデヒド [°]	イソフタノール	酢酸エチル	メチルイソブチルケトン	トルエン
	○○	スチレン	キシレン	プロピオン酸	ノルマル酪酸	ノルマル吉草酸	イソ吉草酸	/	
		○○	○○	○○	○○	○○	○○		

規制基準値、協定値、自主管理値等を記載してください。
 該当しない項目は表に斜線を入れて「該当なし」と記載してください。

4. 周辺地域の生活環境の保全のため達成することとした数値

(1) 大気質関係

地点名称	排出ガス量 (Nm ³ /h)	排ガス温度 (°C)	大気汚染物質								備考 標準酸素濃度 ○○%
			ばいじん (g/m ³ N)	CO (ppm)	SO _x (ppm)	NO _x (ppm)	HC1 (mg/m ³ N)	ダイキソソ類 (ng-TEQ/m ³ N)	全水銀 (μg/m ³ N)		
煙突出口	○○	○○	○○	○○	○○	○○	○○ (○○ppm)	○○	○○		

(2) 水質又は地下水関係

地点名称	排水量 (m ³ /日)	pH	BOD (mg/l)	COD (mg/l)	SS (mg/l)	ノルマルヘキサン抽出物質 (mg/l)		その他該当項目 (mg/l)				備考
						鉱油類	動植物油類					
放流口○○	○○	○○以上 ○○以下	○○	○○	○○	○○	○○					

(3) 騒音関係

地点名称	騒音レベル (dB)
地点○○、地点○○ 地点○○、地点○○	最大○○ (6:00~8:00) 最大○○ (8:00~18:00)

(4) 振動関係

地点名称	振動レベル (dB)
地点○○、地点○○ 地点○○、地点○○	最大○○ (8:00~19:00)

(5) 悪臭関係

地点名称	臭気指数	臭気物質 (ppm)								
		アンモニア	メチルメルカプタン	硫化水素	硫化メチル	二硫化メチル	トリメチルアミン	アセトアルデヒド	プロピオンアルデヒド	
地点○○ 地点○○ 地点○○ 地点○○ 脱臭装置排出口	最大○○	○○	○○	○○	○○	○○	○○	○○	○○	
		ノルマルブチルアルデヒド	イソブチルアルデヒド	ノルマルペンチルアルデヒド	イソペンチルアルデヒド	イソフタノール	酢酸エチル	メチルイソブチルケトン	トルエン	
	○○	スチレン	キシレン	プロピオン酸	ノルマル酪酸	ノルマル吉草酸	イソ吉草酸			
		○○	○○	○○	○○	○○	○○			

